

新年のご挨拶



玩具人形健康保険組合
理事長 山縣 常浩

あけましておめでとうございます。

被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より当健保組合の事業運営につきまして多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発生から約2年、緊急事態宣言等が再三発令され、マスク着用や3密回避などの新しい生活様式が求められてきた中、ワクチン接種が進んでいるとはいえ、いつ自分が感染するかもしれないという日々に、あらためて「健康に生活すること」の大切さを実感されている方は多いと存じます。

わが国は、加速する高齢化に伴う更なる医療費の増加が見込まれており、いわゆる「団塊の世代」が本年から75歳に到達し続々と後期高齢者に移行することで、現役世代の高齢者医療費負担が限界に達し、国民皆保険制度そのものの存在が危ぶまれる「2022年危機」を迎えます。

国では、全世代型社会保障制度の構築をめざし、後期高齢者の窓口負担原則2割の制度改正を決定、令和4年度後半に施行されます。しかし、制度の持続性を確保するには十分とは言えず、現役世代の負担軽減に向けた改革が一層進むことが望まれます。

当健保組合といたしましては、引き続き効率的な事業運営により、健全な財政運営に努めます。また、データ分析に基づいた効果的な保健事業を実施して、みなさまの健康増進をサポートしてまいります。

みなさまにおかれましても、日々の生活に運動習慣を取り入れ、健康にご留意いただきますとともに、疾病の重症化予防対策の要となる特定健診・保健指導は必ずお受けいただき、健康管理の指標としてお役立てください。また、ジェネリック医薬品の活用など医療費の適正化にご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本年がみなさまにとって実り多き一年となりますことをご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。